

The Riflesports



トルコと日本、 友情のこれから



警備を終了します!



スマホに反応して、
自動で警備を解除



スマホ防犯が、 さらに便利に。

【スマホゲート】



玄関で、「スマホの持ち忘れを教えてくれる」

「帰宅時に自動で警備解除」「外出時にワンタッチで警備開始」

スマホ防犯は、ALSOK。

HOME ALSOK Connect

24時間 1365日受付 | ☎ 0120-39-2413





新年 挨拶

年頭に際し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員のみなさまにおかれましては、昨年日本ライフル射撃協会の運営に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。また、ふるさと納税につきましても多くのみなさまにご協力いただきましたこと、感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年、私はこのライフルスポーツ新春号の特集『射撃界の2024年予想図』におきまして、4つの予想を上げさせていただきました。

一つ目は「共生スポーツとしての射撃競技の2024」です。年齢、性差、障がいの有無など関係なく、誰もが共に楽しめる共生スポーツとしての射撃の魅力を活かそう、と、2023年から本格的に始動した共生大会。この活動は世界的に始動して行ってきたのですが、近頃ISSF国際射撃スポーツ連盟でもこの取り組みについて考えていこうという動きが出ています。同時にISSFは、現在IPC国際パラリンピック委員会が統括しているパラ射撃との統合を検討しています。こうした動きを見ますと、日本が共生大会へひと足早く舵を切ったことにより、世界的な

共生への流れを促したといえるかもしれません。

二つ目のパリ2024オリンピックク・パラリンピック。こちらは残念ながらオリリンピックメダルには到達できませんでしたが、大学生の野畑美咲選手はあと一歩でファイナル進出、という成績を取ってくれました。パラリンピックでは水田光夏選手がオリリンピックで日本ライフル女子初となるメダルを獲得。これらの結果により、日本射撃界としては一定の成果があったと考えています。また、トルコのユスフ・ディケチ選手が世界的に大きな話題を呼んだことにより、日本でも射撃競技に視線が集まり体験会の集客につながるなど、よい効果が出始めています。

そして、「ビームライフル・ピムピストルの2024」。こちらについては大きな変化はありませんでした。ここにはさまざまな要因があると考えています。一つは、射撃に興味を持ってくださった人、体験会から本格的にやりたいと考えた人に対し、案内などその後のフォローがあまりうまくいっていないという点です。これについてはホームページなどから気軽にアク

セスできるよう、早急に整備を進めていきます。また、ビームライフル・ピムピストルが高額だという問題もあります。これはやはり銃に精度を求めてしまうことによるのですが、普及の入り口はそこまでこだわりを持たず、安価で手軽なものを導入して、まずは標的にあてる楽しさを味わっていただく。さらに先に進みたくなくなった精度の高い銃器に移行していくなど、段階があっていいのではないかと、この私が私の考えです。こうした点について、今年さらには議論を深めていきたいと思っています。

最後の「eシューティングの2024」について。こちらは前に進んでいます。先月号の特集「eスポーツの世界」座談会での話にありましたが、今年サウジアラビアで開催される「第1回オリンピックeスポーツ・ゲームズ」。この大会にeシューティングが正式競技として入る可能性が高くなっています。この号が出る頃には結論が出てくることでしょう。決定次第、日本代表を考案する全日本選手権大会を開催できるよう準備を進めていますので、今年もeシューティングの動きに注目していただ

きたいと思います。

*

次のページから今号の目玉企画であるユスフ・ディケチ選手の特集が始まります。パリオリンピック後、非常に多忙をきわめているというディケチ選手が、どの国よりも早く日本にやってきて、その素晴らしい人間性でマスコミや人々のふれあいを通じて、射撃スポーツの魅力伝えてくれました。私自身も『射撃という競技がこれほど素晴らしい人格をつくるのか』と、力をもらいました。我々としては、ディケチ選手が起してくれたこのブームにのり、普及に弾みをつけると同時に、ディケチ選手に続く人間力あふれる選手をここ日本から輩出することを目指していきたい。素晴らしいアスリートをつくり、人々から愛されるスポーツ、支持される競技団体となるべく、今年も共に努力を続けていきたいと思います。



公益社団法人日本ライフル射撃協会

会長

松丸 重一

人生でもっとも大切なものは 友情である



～2人のオリンピックがつなぐ
日本とトルコ、友好の絆～

Mr. Yusuf Dikec ユスフ・ディケチ

Personal data

1973年1月1日、トルコ・アンカラ生まれ。
180cm、79kg
利き手：右
効き目：右
射撃開始年齢：28歳
主な種目：AP RFP CFP ほか
射座の必需品：なにも持ち込まない
ストレス発散：娘と過ごすこと、サルサダンス

【獲得メダル数】

オリンピック	銀1
世界選手権	金2 銀2
ワールドカップファイナル	銅2
ワールドカップ	金3 銀3 銅2
ヨーロッパ選手権	金6 銀2 銅2

昨夏のパリ 2024 で世界的話題を呼んだ『無課金おじさん』こと射撃のユスフ・ディケチ選手。年も終わりの12月3日（火）、他国に先駆け、ここ日本に来てくれました。その理由は、「日本には親友のマツダがいるからです」。

世界選手権で2種目を制覇した、日本ピストル界のレジェンド・松田知幸氏との絆から生まれた今回の来日。ライスポは6日間の滞在に密着。ディケチ選手を追いかけました。素顔のディケチ選手は「おじさん」というより、真摯で一つひとつにとっても丁寧に向き合うジェントルマン。発する言葉は輝くメダルを手にしたアスリートが持つ、重みがありました。

そこで今回は、ディケチ選手来日を緊急特集。心に響く金言の数々をお届けします。

◎◎ 歓迎のあいさつ

松丸喜一郎・日本ライフル射撃協会会長

『この度は日本とトルコ国交樹立100周年の記念すべき年の締めくくりとして、また松田知幸コーチとの絆のもと、日本にきてくださってありがとうございます。前回の東京大会で日本には一度来られていますが、コロナ禍で無観客開催だったということもあり、まったく日本を見ていらっしやらないと思います。今回は短い滞在期間ですが、日本を楽しんでいただければと思います。また、日本では射撃競技がまったく普及していません。今回のディケチ選手の来日を機に、射撃競技を普及していきたいと思っていますので、ぜひご協力ください』

ユスフ・ディケチ選手

『射撃競技は知られている競技ではありません。私も今後、みなさんに関心を持ってもらえるようなスポーツになることを願っています。将来的には日本とトルコが共催するような大会を開くことができたらと考えていますので、母国に戻りましたらトルコ射撃協会会長に伝えます』



◆きっかけ

射撃は偶然からのスタートでした。軍の学校に入ったばかりの頃、バレーボールをやりたいと思って行ってみたら定員いっぱいでした。断られました。たまたま射撃場の前を通りかかったので、試しにやらせてもらったところ、先生から「明日また来てください」と言われ、次の日に行ったら「あなたはピストルをやりたい」と言われました。そのままバレーボールをやっていたら、いまの私はないでしょう。

◆トレーニングについて

バランスを保つためのトレーニングは日々行っています。鍛えるということは射撃場のなかで射撃をすることだけではないです。生活のなかのすべて、射撃、練習、学校、自宅、生活のすべてをなかに含めて考えます。どこでも鍛えることはできるのです。



◆試合に向けた調整

射手として、試合前はたくさん練習します。

試合が近づいてきたら、外に出て過ごすことはあまりありません。睡眠にも気を付け、練習の合間の食事も考えながら摂取します。

試合数日前という段階になると、目を疲れさせてしまうスマホ、パソコンからも離れます。

◆試合でのルーティーン

試合で1時間15分という時間をうまく使うこと。早すぎ

ても遅すぎてもいけません。練習ではストップウォッチを使い、時間を調整します。そのなかで5分から10分、自身の休む時間をつくりまします。こうした作業を練習のときにやっておかねばなりません。試合を想定した練習をするということですが。

◆両目で標的を見ること

世界でも両目を開けて試合をする人は数人しかいません。私も最初の頃は片目で見るとスタイルでした。でも、それは私にとってリラックスできるやり方ではなく、あまりよい結果も得られません。両目を開けて練習するようになり、時間はかかりましたが、成果が現れるようになり、このスタイルを続けていきます。

◆ディケチ流集中力トレーニング法

集中力を鍛えるために、私は音楽を聴きます。たくさんの楽器が演奏され

るなかで、ひとつの楽器に集中し、その音だけを追いかけます。この集中トレーニングを時間かけて取り組めば、感情のコントロールスキルもあがっていきます。

◆ディケチ選手がバズるきっかけになったイラストについて

今回、日本に来た目的の一つに私のイラストを描いてくださった方（漫画家・逆木ルミヲさん）にお会いしたい、ということがありました。実際に会えてとても嬉しかったです。私の絵を描いてくだ



さったということが私にとって、一番大きなプレゼントでした。ありがとう。

◆無課金おじさんと呼ばれていること

射撃というのは自然体でいること。そのためにはリラックスしていることが必要となります。私にとっては装備をつけることは自然体であることからそれてしまうこと。だから何もつけないのです。若い頃はメガネすらつけていませんでした。

◆松田知幸氏について

活躍しているからといって



Yusuf



誰からも好かれるわけではありません。そこには人間性が重要です。世界チャンピオンのマツダさんはそれを兼ね備えた素晴らしい選手の一人です。いいお手本のもとにいるみなさんはラッキーだと思います。

◆集大成へ向けて

2028年のロサンゼルスオリンピックが私にとって競技人生の最終地点になると思っています。人生には始まりと終わりがあるのは定めです。ロサンゼルスまで競技者として邁進し、引退したいと考えています。

◆よい射撃をするためには

3つの必要な項目があります。ひとつはコンディション、次がサイトを見るテクニック、3つ目がメンタルトレーニングです。いま、これをやっている人が少ないようですが、射撃で強くなるためにはメンタルはもつとも重要なトレーニングです。



お願いです。ぜひ生活のなかでメンタルのトレーニングを心がけてください。

◆日本について

この短期間の滞在で見えてきたのは、人々がお互いに敬意を払って接していて、規律があるということ。そして伝統を重んじる人々なのだということ。この世界で民族が長く繁栄していくためには、そうした習慣、伝統というものを大事にしていかなければいけません。

◆射撃選手であるということ
大事なことは射撃場の外でも射撃のことを忘れないようにすることです。

試合直前は常にポジティブなことを考え、ネガティブな考えは試合場の外に置いてきましょう。そして、試合ではできる限りの力を発揮しましょう。

お年玉読者プレゼント

ユスフ・ディケチ選手の直筆サインを日ラ会員10名にプレゼントいたします。詳しい応募方法など左記のQRコードからアクセスしてください。締めきりは2月末日24時まで。発表は発送をもってかえさせていただきます。



ディケチ格言

いい瞬間を考えていないと、変わりに悪い考えが浮かんできると思います。そうした悪い考えが入ってこないよう、頭のなかをよいことだけで満たされるような状態をつくってください。

子どもたちを愛するということは、生きとし生けるものを愛し、世界のさまざまなものを愛することにつながっていきます。

ほかの人の道を辿っていくと、自分らしさを失うことになってしまいます。

自分は自分だということを大切にし、自分の技術、自分の戦略を突き詰めていく。

これはリスクでもありますが、

自分の道を一人で歩いていくことは、自分の足跡、自分の痕跡を残すことになります。

若者たちへ。

目標を高く持ち、

一生懸命あきらめずに取り組んでください。

何かを望むということと、

それが叶うことは別ですが、

叶えたいと思ったら強い意志を持ち、

一生懸命取り組んでください。

世界はなんのために存在しているか。

よい人間たちのために存在している。

でも、世界には悪い人間というものもある。

私はどちらになりたいか。

若者によい人間になってほしいければ、

私たちがまずよい人間でなければいけない。

よい世界を望むなら、よい人間になるしかない。

私が生活のなかでよい人間であれば、

若者たちもそれを追って同じようについてきてくれるだろう。

この世界でもっとも美しいものは友情です。





第78回 国民スポーツ大会

SAGA 2024

新しい大会へ。

すべての人に、スポーツのチカラを。

ライフル射撃競技

日程 9月27日(金)～9月30日(月)

場所 大分県立庄内屋内競技場(大分県由布市/50m、10m)

湯布院スポーツセンター(大分県由布市/BR、BP)

佐賀県警察学校(佐賀県佐賀市/25m)



『国体』の名称で広く親しまれてきた国民体育大会。1946年から続いてきたこの名称が2024年大会から『国民スポーツ大会』に変更。これまで培ってきた精神はそのままに、体育という捉え方からスポーツへと意識を変えようと、新しい形での大会としてスタートを切った。

『国スポ』としての栄えある1回目の舞台となったのは、九州・佐賀。『SAGA2024』と題し、『する』『観る』『支える』という3つのコンセプトのもと、開催されることとなった。ライフル射撃競技は会場の関係から佐賀県内ではなく、大分県由布市。本大会よりも1週間ほど早く開かれることとなったが、大会は大いに盛り上がった。

新装開店したSAGA2024ライフル射撃競技は選手、関係者にとってどのような大会だったのか。レポートする。



SAGA 2024

9.27 FRI DAY1

大会初日。由布市内からクルマで約40分ほど走らせたところに会場はあった。物販テントには色鮮やかな商品が並び、年に1回のスポーツの祭典だということを感じさせてくれる。

初日の種目は、「男子50m伏射」「女子50m伏射」、男子「10mエアライフル」「女子10mエアライフル」の4種目だ。会場入り口には等身大ピクトグラムのパネルがどんと置かれていた。このモデルは佐賀県ライフル射撃協会の菅慶信さんだという。本人も言われるまで気づかなかつたらしい。



「あれはおまえだよ、と言われてちよつと恥ずかしい気持ちになりましたが、やはり嬉しいですね。」

出身は長崎なんですが、佐賀の大学に進み、そこからずっと佐賀県でやっていまして、今回は強化選手のスタッフとして参加しています。次回は僕も選手として出場したいと思います」(菅氏)

会場に入ると初日特有の高揚感が漂っていた。地元の代表として射座に立つのは、ほかの大会では感じられない気持ちになるのだろう。試合は順調に進み、ベテランと若手選手が表彰台の頂上に立つスタートとなった。

会場から

平田しおり選手(石川)が50m伏射で本選日本新記録、ファイナルでも日本新大会新と大活躍だった。

「シンプルにとっても嬉しいです。この点数は自分にとっても自己新記録。最近、伏射種目は調子がいいなとは思っていましたが、本当にここまで撃つとは自分でも思っていないませんでした」

(平田選手)



女子エアライフルで優勝を決めたのは関西大学の旭 夏希選手だ。オリンピック・野畑美咲選手を僅差で破る大逆転を演じた。

「(大逆転は)自分が一番ビックリしました。絶対負けたくらと思って2位の選手の点数を見て、勝つたことわかりました。そうしたら急に涙が出てきました。国体は去年初めて出場し、ファイナルにも残れなかったのが、今回はファイナルに上がることができ、メダルが確定したときには何位でもいいやって思って望んだので、優勝なんて最後の最後まで思っていました」

(旭選手)



SAGA 2024

9.28 SAT DAY2

大会2日目。チーム競技が気になり、この日の午前中は湯布院ス

ポートセンターに顔を出すことにする。湯布院駅からクルマで約10分、広々とした敷地のなかに会場はあった。

年季の入った体育館では高校生たちが静かに、熱く、燃えていた。この日の種目はチームライフルの男女ファイナル。男子は徳島、女子は岐阜と高校生の強豪県の代表が勝利を掴んだ。

会場から

チームライフル男子の部優勝は、大石拓海選手(徳島)。サッカーから射撃に転向したという。

「実は最初の10発のときに7.7を出してしまいました。終わってた」と思いましたね。でも、そこからはもうやるしかないとき直ることでできて、一発一発思いきり撃つことができました。現在、高校3年です。これまでの最高成績はかごしま国体の3位なので、今回が初優勝です。エアに興味はあります。いま、エアに進むかどうか考えているところです」(大石選手)



チームライフル女子は岐阜の石

田紬葵選手が優勝。夏の高校大会ではエアで優勝している高校2年生だ。

「自分は一発一発に強いタイプ。しっかりと落ち着いて、ていねいに、撃つことができました。来年の国スポはチームではなく、エアで出場したいと考えています」(石田選手)



*

後ろ髪を引かれながらも二つの種目を見届けると、シャトルバスで庄内の射場へ向かう。無料で利用できる移動バスはとても便利だが、チーム会場と射撃場間との往復だけで最寄駅の湯布院からの便はなかったのが残念だった。

射撃場では、成年の部新種目の「男子50m立射」と「女子3姿勢」、少年の部では「エアピストル」と、新しい試みとなる「エアライフル30発」が行われた。

会場から

エアライフル少年男子30発の部で初代チャンピオンに輝いたのは、ギャンビル・ウィリアム・海音選

手（神奈川）。

「いろいろな方に助けってもらってここまで来ることができました。全国から強い選手が集まり、みんなとプレーすることができて非常に楽しかったですね。めったにこんなに楽しい気持ちで入れるファイナルはありません」



SAGA 2024 9.29 SUN DAY3

会場から

佐賀国スポのために、と佐賀に移住して5年半。この日のために頑張ってきたエリートアカデミー出身の井浦一希選手。優勝とはなかったが、3姿勢で準優勝に輝いた。

「昨日の伏射種目で入賞できなかったので、今日こそはと思っていました。佐賀で5年半、この間、コロナ禍もあり結果も残せず、苦しい時期もありました。佐賀県協会のみなさんをはじめ、病院、チームメイト、みなさん本当に暖かくて、佐賀チームは最高のチームでした。このメダルで恩返しのできたのでよかったです」（井浦選手）



一方、エアピストルでは男女とも若き王者が誕生した。女子は高知の阿部花論選手、男子は岡山の中山惇之丞選手だ。どちらも大会新記録という。まだ10代、これからの活躍が楽しみな二人である。

「メダルをもらい、優勝したという実感が湧いてきてとても嬉しいです。今日はムダに悩んだり、自分にプレッシャーをかけることもな

く、自分にできるのは楽しんで撃つこと。それが周りの人を笑顔にできるということに気がつき、素直に撃てました。それがたぶんこの結果につながったんだろうと思います」（阿部選手）



「最後の10点がもう少し上だったら個人的にはもっと嬉しかったです。今年の1月に所持許可がおりてエアを持つようになり、最初はピストルと反動が異なるのでなかなか当たらなかったのですが、ようやく近頃自分の射撃の型にハマってきて、思うような点数が出るようになってきました。今回はランキング1位の選手が目の前にいたので、その人に絶対に勝つというそれだけに集中できたことがよかったですと思います」（中山選手）



SAGA 2024 9.30 MON DAY4

大会最終日。早いもので大会もラスト1日。残す種目はエアライフルミックスファイナルとエアライフル少年女子の本選、ファイナルのみである。賑やかだった射場も人が少なくなり、大会の終わりが近づいていることを感じさせられた。

会場から

エアライフル少年の部で優勝を果たしたのは、地元佐賀県代表の野田朋花選手。表彰台で両親になんと報告しますか、と聞かれ「どうだ！」と答え、会場は明るい笑いで包まれた。

「すごく緊張はしたんですけど、楽しめたところがよかったですか、と思います。楽しかったです。実は試合ではずっと震えていて、なんで当たるんだろうって思っていました（笑）。ライフルを始めたのは高校に入ってからです。自分にとってライフルは日常ですが、ほかの人にとっては普段使うことができない銃でこうして国スポに出

ているというのは非日常ですよ。そこを体験させてもらうことができるのが私にとって射撃の魅力かなと思います」（野田選手）



エアライフルミックスを制したのは、会場となった射撃場が学生時代の懐かしの練習場という、大分の野畑美咲／八川綾佑ペア。

「去年は惜しくも2位という結果で終わったので、今年同じペアの八川さんと一緒に優勝することができてよかったです」（野畑選手）。「私のほうがだいぶ上ですが、二人とも由布高校の出身です。野畑選手は安心して頼れる存在なので、しっかり頼らせてもらいながら、大船に乗ったつもりでリラックスして試合に臨みました」（八川選手）



*

新しい試みで開催された佐賀国
スポ。天皇杯は滋賀県が、皇后杯
は岐阜県が獲得した。勝利に喜ん
だ選手、悔しい思いをした選手、
それぞれのドラマがあったが、都
道府県を背負い、チームで戦った
選手が集まり、力をあわせ、勝つ
ても負けても笑顔を見せていたこ
とが印象的だった。

天皇杯

滋賀県 岡 篤彦監督

「選手みんなが0.1点をあきらめず
に取りに行く。その気持ちが今回
の結果につながったと思います。
選手たちが普段の練習から射撃中
心に頑張ってきてくれて本当にあ
りがとうと言いたいですし、教え
子が大活躍してくれて本当に嬉し
く思っております」

皇后杯

岐阜県 松巾 亜由監督

「岐阜県としては16年ぶりに皇后
杯をとることができたので、非常
に嬉しく思います。また、かわい
いかわいいな大事な教え子たちと1
週間過ごせたのとても幸せ者で
した。成年選手も少年選手も一丸
となって、それぞれサポートしあ
いながら大会に挑むことができた
ので、とてもよかったかなと思っ
ております」

FROM 表彰台 優勝インタビュー

50m ライフル立射

おかだ なおや
岡田 直也 (岡山)

初めての種目で初代チャンピオンになること
ができ、とても光栄です。私の記録が大会
新記録となりますが、来年みなさんとまた
一緒に記録更新を目指して頑張りましょう。

10m エアライフル

やまもと れいじ
山本 零侍 (高知)

正直、いま緊張していてもうまく言えないん
ですけど、よく頑張りました。最後まで応援し
ていただいていたありがとうございます。

50m ライフル伏射

おた ゆうこう
織田 祐宏 (福井)

目線の高いところから見る景色は格別です。
まず家族に。最愛の妻と子どもに伝えたい
と思います。本当にみなさま応援、そして
運営ありがとうございます。

10m エアライフル (30 発)

かわむら ゆうか
川村 悠夏 (高知)

優勝できて本当に嬉しいです。コーチの方々
や高知県のみなさん、両親にありがとうと伝
えたいです。

同時開催

SAGA2024 YUFUスポーツ体験会

射撃会場の隣の庄内総合運動公園で
は、実行委員会事務局が中心となって
『SAGA2024YUFUスポーツ体験会』
を開催。『チームライフル・チームピス
トル体験』、「eスポーツ（eシューティ
ング）体験など、スポーツイベントが
行われた。

eスポーツで専門家も驚くほどの力

量を見せた10歳の男の子は「毎日フォ
ートナイトを中心にゲームやってるけど、
シューティングゲームはほとんどやっ
たことなかった。建築のところ楽し
かった」。17歳のお姉ちゃんを筆頭に3
人でやってきたきょうだいは「こうい
うゲームはやったことなかった。もっ
と楽しみたい」と、好評だった。



注力したのは、
選手の活躍にフォーカスし、
その活躍をいかに伝えるか



古賀 昭博
佐賀県SAGA A
2024・SPP推進
局 SAGA2024
競技運営チーム
SAGA2024ライフ
ル射撃競技会ライフ
オフィスマネージャー

射撃競技が県外開催競技と決定し、
部署が立ち上がった5年前から担当
しています。1年前から住居も大分
に移し、本格的な準備に入りました。

ライフル射撃という競技は担当に
なつて初めて見せていただきましたが、
精神力や集中力といった心の部
分が重要な競技だということを知り
ました。すごい競技だと思つると同
時に、自分自身に向きあい、打ち込
んでいる選手の姿に魅力を感じ、選
手にきちんとフォーカスし、選手た
ちの活躍をいかに伝えるかという点
に気を配りました。そのひとつが動画
配信です。

電子標的を使用し、瞬時に得点や
順位がわかる仕組みが構築されてい
るライフル射撃競技に、新たに競技
のルールや進行状況などを伝えるた
めの「実況」を加えて、いかに競技
会場の臨場感を伝えるか。国スポの
新しい取り組みの一つとして準備を
進めてきました。それが形となり、
ライフル射撃の魅力が多くの方に伝
わつていましたら幸いです。

大分県がしっかりとした
体制をつくり、
バックアップしてくれたことが
大会の成功につながつた



高柳 喜人
たかやなぎ よしと
大会副委員長

これまでの国体から発展させ、『観る・
する・支える』をコンセプトに、みんな
が盛り上がる新しい大会を佐賀から発
信するんだ、とスタッフ一丸となつて準
備にあたつてきました。大会前日は緊
張しましたが、始まればそれぞれのポ
ジションのみなさんが動いてくださり、
大きな混乱もなく大会を終えることが
できたと思つております。

ここに至るまでは、たいへんでした。
当初は佐賀県内での開催を目指してき
ましたが、諸問題から大分県の協力を
仰ぐことになりました。みなさんたい
へん快く協力してくださり、しっかりと
とした体制を組んでくださいました。
湯布高校射撃部は出場選手以外、3年
生を含めて部員全員が補助員として参
加してくれました。佐賀県からは古賀
係長は栃木国体から射撃の視察にまわ
り、昨年からは担当3人で湯布に拠点
を移して大分県との調整にあたつてく
れました。こうした多くの方の協力が
あって、無事、大会を終えることがで
きましたことに深く感謝しあげます」

PEOPLE

長年国体を影で支えてきた
鈴木一郎
総合成績計算委員

「パソコンを扱えるなら、国
体の成績を記録するシステ
ムつくつてくれないか」

県協会の幹部からそんな
ふうに言われたのは1998
年頃だったかと思ひます。そ
うは言われても、私はパソコ
ンの専門家ではありません。
システムをつくることは難し
いということ、外注に出
してもらつたのですが、それ
が難しくて使いこなせない
ということになってしまいま
した。オペレーターに依頼する
と膨大な費用がかかる。や
はりシステムをつくる必要性
に迫られ、1年間自分なりに
勉強し、システムつくつて
みたところ結構うまくいっ
たんです。以来、先催県から
そのシステムを使わせてほ
しいという話が来て、総合成
績計算委員としてずっと国体
そしてこの国スポに関わつ
ています。

私が使っているのはデータ

ベースソフトではなくエクセル。
エクセルにこだわつてい
るのは、エクセルなら汎用性
が高いからです。いまは個
人の記録などデータで届く
のでなんの手間もかかりま
せんが、かつて使用されてい
たのは紙の申込書で手入力
です。名前、会員番号、記録、
出身地など、すべて一から入
力、整理し、紐づけていく
作業を行わなければならま
せん。この時期が一番たいへ
んでしたね。一度それができ
てしまえば、あとは番号を
呼び出せばその選手の情報
は出てくるので、そこから抽
出していけばいいよう
になるので大きな
手間はかからな
くなります。し
かし、データベ
ス自体のデータを
間違えてしまうと、

り、出場できなくなつてし
まいますので、ここには非常
に神経を使ひます。
役員をやるようになって
かれこれ30年近く国体に関
わらせていただひています。

選手、監督ということを含
むと、今年でそろそろ国体
も50回を数えるくらいにな
ります（苦笑）。年齢も80の
大台が近づいてきましたし、
もうそろそろ、若い世代に
引き継いでもらひたいとい
うのが正直なところ。若
い世代にはパソコンが得意な
人がたくさんいると思ひま
す。気持ちのある若い世代
にバトンをお渡ししたい。ぜ
ひ、よろしくお願ひいたしま
す。



ともすればその選手は選手
のせいではないのに失格とな

少年男子

10m エアライフル (AR60J)

1位	山本 零侍 (高知)	245.8
2位	高岡 優介 (愛知)	245.4
3位	キャンビル・ウィリアム・海音 (神奈川)	225.0

本選記録大会新 高岡優介 624.7

10m エアライフル (AR30J)

1位	キャンビル・ウィリアム・海音 (神奈川)	247.5
2位	高岡 優介 (愛知)	245.5
3位	山本 零侍 (高知)	224.9

本選記録日本新・大会新 高岡優介 312.9

ビームライフル (BR60J)

1位	大石 拓海 (徳島)	247.4
2位	松原 靖 (滋賀)	247.1
3位	松本 晃佑 (三重)	226.4

ビームピストル (BP60J)

1位	井上 陽斗 (鹿児島)	229.0
2位	大山 結暉 (愛知)	228.4
3位	尾形 柁治 (徳島)	207.4

成年女子

50m ライフル3姿勢 (R3P)

1位	平田しおり (石川)	456.6
		大会タイ
2位	井浦 一希 (佐賀)	452.5
3位	後藤 風音 (滋賀)	441.8

本選記録大会新 堀之内愛 588

50m ライフル伏射 (R60PR)

1位	平田しおり (石川)	626.5
		(日本新、大会新)
2位	後藤 風音 (滋賀)	620.2
3位	町田 莉子 (和歌山)	619.4

10m エアライフル (AR60W)

1位	旭 夏希 (富山)	249.5
2位	野畑 美咲 (大分)	249.3
3位	生駒 早織 (東京)	228.1

10m エアピストル (AP60W)

1位	阿部 花論 (高知)	237.4
		大会新
2位	隈井 光砂 (岡山)	234.9
3位	陸 未来 (新潟)	213.6

成年男子

50m ライフル立射 (FR40)

1位	岡田 直也 (岡山)	385
		日本新、大会新
2位	橋爪 一馬 (滋賀)	382
3位	関口 慈英 (埼玉)	377

50m ライフル3姿勢 (FR3P)

1位	岡田 直也 (岡山)	459.5
		大会新
2位	景山 拓朗 (大阪)	446.3
3位	小林 郁弥 (栃木)	435.1

50m ライフル伏射 (FR60PR)

1位	織田 祐宏 (福井)	247.7
2位	中村 優汰 (群馬)	246.7
3位	垣見 昌男 (大阪)	225.8

10m エアライフル (AR60)

1位	岩崎 貴文 (滋賀)	248.4
2位	篠原 章宏 (福井)	245.3
3位	金子 和駆 (山形)	223.8

10m エアピストル (AP60)

1位	中山惇之丞 (岡山)	240.0
		大会新
2位	内田 翼 (長崎)	232.8
3位	吉村 和徳 (岐阜)	212.0

25m センター・ファイア・ピストル男子 60

1位	松本 洋 (愛知)	777.0
2位	松井 裕樹 (京都)	774.0
3位	清水 大央 (滋賀)	770.0

25m センター・ファイア・ピストル男子 30

1位	井下 友裕 (香川)	288-8x
2位	齊藤 和紀 (岩手)	284-7x
3位	水越 貴之 (三重)	284-6x



総合成績

天皇杯（男女総合成績）

1位	滋賀県	92
2位	岐阜県	75
3位	徳島県	72

皇后杯（女子総合成績）

1位	岐阜県	41
2位	滋賀県	40
3位	徳島県	35

MIX成年

10mエアライフル MIX

1位	大分県	(野畑美咲/八川綾佑)
2位	福井県	(三浦莉桜/篠原章宏)
3位	滋賀県	(中口 遥/岩崎貴文)
本選記録大会新	野畑/八川	625.4

MIX少年

チームライフル MIX

1位	岐阜県	(篠田瑛斗/石田紬葵)
2位	滋賀県	(松原 靖/松村紗来)
3位	東京都	(橋本悠哉/細淵紗良)

少年女子

10mエアライフル (AR60WJ)

1位	野田 朋花	(佐賀)	247.0
大会新			
2位	瀬川 桜	(埼玉)	246.6
大会新			
3位	川村 悠夏	(高知)	225.8

10mエアライフル (AR30WJ)

1位	川村 悠夏	(高知)	247.4
2位	藤田 琴子	(茨城)	246.6
3位	瀬川 桜	(埼玉)	225.7
本選記録日本新・大会新	山田音緒		310.0

チームライフル (BR60WJ)

1位	石田 紬葵	(岐阜)	251.6
2位	吉野 百美	(神奈川)	251.3
3位	細淵 紗良	(東京)	229.8

チームピストル (BP60WJ)

1位	柚木 泉	(岐阜)	230.8
2位	浦部穂乃加	(愛媛)	225.5
3位	田崎 万結	(長崎)	207.9



FROM 佐賀国スポ TO 滋賀国スポ

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



滋賀県代表
中口遥選手からの
メッセージ

マスコットは「キャップィー」
「チャップィー」といいます。琵琶
湖のナマズがモチーフとなっています。
かわいいですよ。滋賀県チー
ムは選手それぞれの力が強いチー
ム。来年に向け、一歩ずつ進んで
いるところです。
ではみなさん、滋賀国スポで会
いましょう。

佐賀から始まった国スポは
2025年、滋賀へとバトンがあ
つなぐ。日本一大きな湖・琵琶
湖を抱く滋賀県で行われる国民
スポーツ大会の愛称は「わたSH
IGA輝く国スポ」、大会スロー
ガンが「湖国の感動 未来へつな
ぐ」。大会に関わるすべての人の心
に刻まれ、明日への活力、未来へ
の希望として引き継がれていくよ
うに、との願いが込められていま
す。開催は9月28日(日)から。
ライフル射撃競技は県外開催とな
り、大阪府の能勢ライフル射撃場
が会場となります。

佐賀県ライフル射撃協会

タレント発掘事業が、
今回の国スポで
大きな成果をあげた

選手強化理事

あねがわ あらた
姉川 新

DATA

佐賀県ライフル射撃協会
射撃場：シューティングレンジ
(SAGA スタジアム等野外施設)
設 立：昭和37年4月

当県1回目の国体（国民体育大会／1976年）の頃、佐賀市内に50m、10mが揃った古い射撃場がありました。そこで高校生がエアライフルの練習をしていましたが、当時の高校生というと、1年生から3年生まであわせて3、4人程度しかいなかったと記憶しています。

私は高校卒業後、陸上自衛隊員に入隊。昭和から平成に移る頃、佐賀に戻ってきたのですが、そのときもまだ人数的には細々とやっていると、この感じが否めませんでした。選手兼コーチとして佐賀県を見てきましたが、その頃は強化という体制は確立されておらず、個人での練習が中心。普及活動にも積極的とはいえない状況で、口コミで集まってきた子どもたちでやっているという感じでした。

現在では、普及・強化の環境が大きく変わりました。まず、以前の射撃場は8射座でしたが、SAGAスタジアムという市内の施設にあるシューティングレンジというエアライフルの射撃場にはエアライフル、

ビームライフルともに射座が13あり、ここが県内の選手たちの練習場となっています。

強化につきましても、3、4年前に日ラからタレント発掘事業のお話をいただいたことを契機に、動き出しました。佐賀県としてはこの国スポ（国民スポーツ大会）を控えていたことからすぐに手を挙げ、みなさんのご指導のもと、選手の募集、オーディション、そして育成強化と、はかってまいりました。特に募集に關しましては、スポーツ課の先生たちと一緒に学校をまわり、オーディションのチラシを配らせていただいています。これまでもなんとかしてはいけなく、とポスターをつくるなどあれこれやってみました。このやり方が一番効率がいいと感じています。同時に、私の指導だけではやはり偏りがありますので、広く知識を持った指導者にお越しいただいて指導していただく必要があると感じ、何人かコーチをお願いしています。小西ゆかりさん（ピストル／強化指定選手）もその一人。今回の

国スポで活躍したビームピストル、ビームライフルの選手のほとんどがこの事業の出身者ですから、このタレント発掘事業の果たした役割は大きく、重要性をしみじみ感じています。

ただ残念な点をひとつあげるとするならば、50mの射場がないこと、今回国スポでも使用された大分県や熊本県、長崎県など県外にお世話になりながら練習している状況です。

これからも高校生の育成に重点を置きながら、大学、そして世界で活躍できる選手を輩出することを目標に頑張っていきます。



前列中央が佐賀県代表の野田朋花選手、現在高校生。
タレント発掘事業出身の一人



SIUS と共に 新たなステージへ

 SWISS PRECISION

日本における
光学式電子標的・超音波式電子標的の
リーディングカンパニー

ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)
SIUS社 日本総代理店



日本ビーム株式会社



2023年度は約800名の参加者を集めた体験会（スポーツ庁組織基盤強化支援事業5回、ENEOS協賛事業3回）。今年度も6月30日の日本オリンピックミュージアムからスタートして5回の体験会が終了している。

今回は社会貢献に積極的に取り組んでいるENEOS株式会社の協力を得て行った3会場でのスポーツ射撃体験会のなかから、特に12月に開催した被災地復興支援と特別支援学校での体験会について報告する。

ビームライフル
ビームピストル

スポーツ射撃体験会

復興の願いを込めて 現役アスリートが勢ぞろい

2024年12月1日開催

能登半島復興支援

ビームライフル・ビームピストル スポーツ射撃体験会 in 石川



「被災地のために活動していただくことが嬉しく、また終わったあと、笑顔で帰っていただけることに本当に良かったなと思います」（平田選手）

まだ日が登るには少し間がある暗いなか、金沢を出発して一路能登半島へと向かう。途中、明け始めた空に端まで見渡すことができる、大きな虹がかかっているのが見えた。

今回の体験会は、能登半島地震や奥能登豪雨復興支援として、いつもの活動ができにくい地域のみなさんに、メンタルの競技といわれる「スポーツ射撃」を体験していただき、一時でも日常を忘れる時間を持つていただくと



もに、アスリートとともにスポーツの楽しさを味わってもらおうというものの。アスリートにはパリ大会代表の岡田直也選手、野畑美咲選手、岡田和也選手（パラ）と、隣の富山県出身で、成長目覚ましい金尾克選手（パラ）、東京2020大会代表で、地元石川県出身のオリンピック・平田しおり選手。パリ大会での「応援ありがとう」の感謝の気持ちを込めて、オリンピック・パラリンピアンが志賀町に集まった。

車で走ること約1時間。目的地の志賀高校に到着。スタート時間を待ち侘びていたかのように、人々が集まってくる。予約射座、当日射座、合わせて16ある射座は気がつけばいっぱいになった。なかには県外からという参加者もいた。

体験会は午前午後の2部制。アス

リートたちは交代しながら、1人でも多くの参加者とふれあおうと射座を動き回る。賑わう会場のなかで「すごい才能あるよ!」という元気な声が聞こえてきた。岡田（和）選手だ。参加者と話し込んでいて、「パラリンピアン」の岡田和也選手」とコールされていたのだが気がつかない。それほど、アスリートたちも本気になって体験会に向き合っているということだろう。射撃指導だけでなく、写真撮影にも気軽に応じ、参加者たちは笑顔で会場を後にしていった。

終了後は、ボランティアとして大活躍してくれた志賀高射撃部とアスリートとの交流会が開かれ、日頃の疑問に対し、アスリートは真摯にアドバイスを送っていた。生徒たちにとって貴重な時間になったのではないだろうか。

「このようにたくさんさんのアスリートにお越しいただき、本当にありがとうございます」と丸山貴司／石川県ライフル射撃協会理事長。

被災地体験会で見られたたくさんの笑顔。朝かかっていた虹のように、スポーツ射撃は被災地とアスリートを結ぶ架け橋になった。

共生スポーツとしての スポーツ射撃の魅力を確認

2024年12月18日開催
講演&スポーツ射撃体験会 in 都立足立特別支援学校

朝10時30分。体育館にスタッフが集まり準備を始める。バスケットコートが2面とれる体育館に、ビームライフル9射座、ピストル射座が9射座、あわせて18射座が並ぶ。これだけ揃うとなんとも壮観だ。

13時を過ぎ、授業開始のチャイムがなる頃、体験する生徒たちが列を組んで体育館に入ってきた。

今回の参加アスリートはパリ代表の野畑美咲選手、パリパラ代表で銅メダルを獲得した水田光夏選手だ。射撃を始める前に、射撃の歴史と2人のアスリートの講演が行われ、質疑応答では生徒たちから「射撃で大事なことはなんですか」「どれくらい練習していますか」など、質問が飛んだ。なかには微笑ましい質問もあって、緊張していたアスリートにも笑顔が浮かぶ。

本番の射撃体験が始まると、静かだった体育館が賑やかになった。「何点だった?」「すごい、10点だ」「点数悪い。機械に嫌われたかな」など、生



徒たちは点数表を見せ合いながら集計する先生のもとへ向かう。時間の経過とともにその列に先生が混じり、一緒に点数表を見せ合っていた。

あつという間に時間は過ぎ、1年生の鶴田怜央さんが個人1位のタイトルを獲得した。

「昨日、事前練習を少しだけやり、今日は勝ちにきました。でも、昨日よりずっといい点数ができました。昨日は9点までで10点はとれなかったんです。教えてくれた人の教え方が優しくて、うまかったからだと思います」



「伝えることの難しさは感じましたが、パラ射撃の魅力を知ってもらえて嬉しいです(野畑選手)」「結構みんな当てていますね。楽しんでもらえて嬉しいです(水田選手)」

ちなみに、鶴田さんの指導にあっていたのは柴拓夢指導員(早稲田大)である。

日頃、試合で射場役員を務める杉崎礼子指導員は「純粹に、素直に、引き金を引いてと言ったら引いてくれる。標的に当たったときには笑顔を見せてくれる。一緒に喜びを分かち合えるところがよかったですね」と今回の体験会を総括してくれた。

スポーツ射撃は共生スポーツ。その言葉を改めて感じさせてくれた特別支援学校での体験会となった。

体験会を通じて射撃ファンを増やし、射撃の魅力伝えていく

普及・生涯スポーツ委員会
普及事業部会

あ お う ゆ き
栗生 由紀



チームライフル・ピストルスポーツ射撃体験会を立ち上げたのは、2022年6月のこと。東京2020オリンピックを終え、有識者を集めてライフル射撃の将来構想に関する会議があり、そこで議題となったのが普及活動でした。日本ライフル射撃協会（日ラ）の会員数は年々減ってきていくばかり。選手強化に力を入れるといっても、そこを支える競技人口が少なければよい人材を発掘できません。可能性も小さくなってしまっています。肝心の競技人口を増やすためにはどうしたらいいのか。そこはやはり普及活動を行い、射撃を知らない人たちに射撃に触れてもらう機会をつくることが一番だということになり、普及生涯スポーツ委員会が中

心となってこの体験会がスタートしました。第1回は、日本スポーツオリピックスクエアの会議室をお借りして行いました。いま振り返ってみると、当時の私たちは一般人に体験してもらうためにチームライフル・ピストルを使用するものの、射撃競技を再現することにとらわれ、なるべく本番に近い形で行うものだと考えていました。その一つが10メートルの距離をつくりだすことです。限られたスペースのなか、どうしたらいいかとあれこれ頭を捻り、最終的にこのときは7メートルの距離で行いました。

その後、イベントの専門家にアドバイスをもらい、そもそもの方から見直すことになりました。会員数を増やす前に、一般に広く認知されているとはいえない射撃競技をまずは知ってもらうこと、見てもらい、興味を持ってもらうことから始めるべきではないのか、という指摘を受けたからです。その頃の委員会にはない視点で、私たちはそこから体験会を会員を増やす場ではなく、射撃にふれてもらうきっかけづくりとして位置付け、まずは射撃ファンを増やし、将来的な人口の増加につながっていくという方向性を得たのです。以来、本番の競技にいかになら近づけるかではなく、短い体験時間でもゲーム性をもたせる、チームメイクを取り入れることで、自分の撃った弾着を見ることができると、より楽しんでいただける形へと体験会を進化させてきました。

増やす前に、一般に広く認知されているとはいえない射撃競技をまずは知ってもらうこと、見てもらい、興味を持ってもらうことから始めるべきではないのか、という指摘を受けたからです。その頃の委員会にはない視点で、私たちはそこから体験会を会員を増やす場ではなく、射撃にふれてもらうきっかけづくりとして位置付け、まずは射撃ファンを増やし、将来的な人口の増加につながっていくという方向性を得たのです。以来、本番の競技にいかになら近づけるかではなく、短い体験時間でもゲーム性をもたせる、チームメイクを取り入れることで、自分の撃った弾着を見ることができると、より楽しんでいただける形へと体験会を進化させてきました。

体験会を始めて丸2年が経ち、実績を積んできたことで必要な用具、人材、人数など運営マニュアルはかたまってきました。これを利用して体験会を行ったというところも出てきています。ご要望があればこのマニュアルをお渡しいたします。とはいえ、各地域にはその土地に合ったやり方というものがあるかと思しますので、日ラのやり方でやってください、ということではなく、その土地にあった形にカスタマイズしていただき、使いやすいように利用していただければと思っています。

体験会を通じて射撃人口増加につながるよう、これからも進化させながら、体験会を実施していきます。

*

ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう！

BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は3.0kgと軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バルンサー付の競技者向けのモデルです。

ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔製造・発売元〕

=KOTO= 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2
電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180
<http://www.kohto.co.jp> E-mail: info@kohto.co.jp

ISSF 台北インターナショナルクランプリ

開催地：台北（台湾）
開催日：9月21日（土）～23日（月祝）
報告者：佐橋 朋木/選手強化委員長



総評

参加国数が少なかったこともあり、ファイナル進出が多い大会でした。そのなかでもAPの内田翼選手・森田馨介選手、ARの泰地陽詩選手と若手の活躍が目立ちました。



RESULTS

APM

1位 アラナジAニダーK (KSA)	244.1
2位 内田 翼 (同志社大)	239.9
3位 テオ・ジア・エン (SGP)	216.4
6位 森田 馨介 (関西学院大)	155.4
本選通過点数：1位 575-19x、8位 563-17x	
※4位 RPO (エントリー対象外)	

APW

1位 ウー・チアイン (TPE)	242.2
2位 相澤ひかる (警視庁)	236.9
3位 佐々木千鶴 (岩手県警)	215.9
6位 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	154.7
本選通過点数：1位 578-12x、9位 559-12x	
※3位 RPO	

AR Mix

1位 台湾 (ソン・ユーティン/ソン・チアエン)	
2位 シンガポール (ピンテ/タン)	
3位 日本 (島田 敦/泰地 陽詩)	
4位 日本 (花川 直樹/嘉部 恋)	
本選通過点数：1位 626.5、5位 616.8	

ARM

1位 島田 敦 (自衛隊体育学校)	250.8
2位 タン・ホンアン (SGP)	248.8
3位 ウォンZJライオネル (SGP)	227.2
4位 花川 直樹 (自衛隊体育学校)	206.1
7位 松浦 悠斗 (関西大)	142.6
本選4位 古田 隆矢 (中央大/624.7)	
本選通過点数：1位 627.7、11位 618.1	
※4位、7位、9位がRPO	

ARW

1位 リン・インシン (TPE)	249.9
2位 泰地 陽詩 (明治大)	249.2
3位 ソン・ユーティン (TPE)	227.3
7位 嘉部 恋 (立教大)	143.8
本選通過点数：1位 628.0、10位 617.2	
※7位、8位、RPO	

SP

1位 テ・シュー・ホン (SGP)	34
2位 ティエン・チアチェン	33
3位 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	30SO
6位 佐々木千鶴 (岩手県警)	14
本選通過点数：582-21x、9位 543-11x	
※3位 RPO	

R3PM

1位 大塩 勇斗 (福井村田製作所)	579-24x
2位 花川 直樹 (自衛隊体育学校)	576-19x
3位 島田 敦 (自衛隊体育学校)	576-19x

R3PW

1位 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	580-26x
2位 ソン・ユーティン (TPE)	571-20x

RFP

1位 吉岡 大 (京都府警)	30
2位 飯村 嘉一 (警視庁)	26
3位 岩田 泰輝 (兵庫県警)	22
本選通過点数：1位 578-20x、5位 524-4x	

ISSF ワールドカップ ファイナル

開催地：ニューデリー（インド）
開催日：10月13日（日）～18日（金）

RESULTS

1位 ホアン・ユーティン (CHN)	254.5 WR,WRJ
2位 マスカル S ウッタム (IND)	252.9
3位 ミュラー・オーシャネ (FRA)	231.1
4位 クォン・ウンジ (KOR)	209.9
5位 ハン・ジャユ (CHN)	188.5
6位 セン・ティロタマ (IND)	167.7
7位 ヤンセン・アンナ (GER)	146.0
8位 野畑 美咲 (JPN)	124.4
※本選通過点数：1位 636.9 (QWR)、8位 628.1	



Athlete Voice

のぼた みさき
野畑 美咲 選手

本選でうまくいえず、試合中ずっと集中しきれませんでした。8位には入ることができ、ファイナル進出は果たしましたが、そこでも緊張して自分の射撃ができませんでした。本選の原因はわかっていますが、ファイナルに関してはわかっています。近頃、少しですがファイナルに関して苦手意識が出てしまったためです。これまでは自信を持って臨んでいたのですが、最近は深い点数を入れられていないという試合結果から、そんな意識が少し出てしまったのだと思います。

2024年度 全日本スポーツ射撃競技選手権大会 (10mAR▶AP/50mR) (男女混合オリパラ共生大会)

開催日：11月1日(金)～11月3日(日)
開催地：埼玉県長瀬射撃場
報告者：田中僚一郎、三木 容子



RESULTS

AR

1位 野畑 美咲 (大分) 251.9
2位 遠藤 雅也 (岐阜) 249.6
3位 花川 直樹 (埼玉) 228.8
本選通過点数：1位 633.1、8位 623.1

R3P

1位 岡田 直也 (岡山) 459.7
2位 島田 敦 (埼玉) 459.3
3位 平田しおり (石川) 447.8
本選通過点数：1位 590-30x、8位 583.25x

RPR

1位 川原 楓 (福岡) 624.3
2位 清水 綾乃 (埼玉) 624.1
3位 中村 優汰 (群馬) 620.0

AP

1位 財津 美加 (大分) 236.9
2位 岩佐 正貴 (埼玉) 235.7
3位 森川 清司 (広島) 215.4
本選通過点数：1位 578-18x、8位 569-13x

RPRM/RPRW/R6 団体

1位 平田しおり/後藤 風音/田邊 怜奈
2位 山本 拓生/池邊 龍平/大塩 勇斗
3位 中村 優汰/遠藤 雅也/上竹 強仁
※1位の1850.5は女子日本新記録

R3PM/R3PW/R8 団体

1位 清水 綾乃/鈴木 志佳/堀之内 愛
2位 平田しおり/野畑 美咲/田邊 怜奈
3位 花川 直樹/島田 敦/以西鷹一郎
※1位の1752点、2位の1749点は女子日本新記録

APM/APW/P1/P2 団体

1位 金坂 春杜/岩佐 正貴/徳永 大輔
2位 森田 馨介/内田 翼/横田 大和
3位 清水 達哉/西垣穂乃佳/長屋 佳芽
※2位の1690点はジュニア日本新記録

ARM/ARW/R1/R2 団体

1位 平田しおり/野畑 美咲/三浦 莉桜
2位 島田 敦/花川 直樹/小関 賢登
3位 清水 綾乃/鈴木 志佳/堀之内 愛

AR MIX

1位 岡田 直也/平田しおり
2位 島田 敦/清水 綾乃
3位 八川 綾佑/野畑 美咲

AP MIX

1位 山田 聡子/岩佐 正貴
2位 蟹江 良平/星野 優奈
3位 小西ゆかり/森川 清司

総評

ミックsteam戦は強化指定選手の活躍でメダルマッチが、個人戦も男女混合で盛り上がった。

Athlete Voice

ざいつ みか
財津 美加 選手

応援してくれた方々のおかげで初めて優勝することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

のぼた みさき
野畑 美咲 選手

今回の全日本で一番不安だったことはファイナルでした。以前まではファイナルが得意で、特に何も対策せずに勝つことができました。しかし、最近あまりうまくいかず、自信を喪失していきました。この状況を打破するため、ファイナルに対する練習をたくさんし、今回の全日本に臨みました。本選1位、ファイナル1位という結果となり、とても大きな自信になりました。

おかだ なおや
岡田 直也 選手

負いわず、普段どりの力がだせたと感じます。

文部科学大臣賞争奪 2024年度 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第71回男子総合／第37回女子総合(UNIVAS CUP指定大会)

開催地：能勢町ライフル射撃場（大阪府）
開催日：10月17日（木）～20日（日）
報告者：鈴木 航太／日本学生スポーツ射撃連盟広報幹事

RESULTS

男子総合団体

- 1位 明治大学
- 2位 日本大学
- 3位 慶應義塾大学

女子総合団体

- 1位 明治大学
- 2位 立命館大学
- 3位 同志社大学

※明治大学は3年連続の男女総合優勝

AR

- 個人1位 金子 莉駆（中央大学）
総合1位 明治大学

ARW

- 個人1位 泰地 陽詩（明治大学）
団体1位 明治大学

AP&APW

- 男子1位 内田 翼（同志社大学）
女子1位 小西 怜奈（日本大学）
総合1位 高田 明（東洋大学）

FR3 × 20

- 個人1位 杉本 拓叶（日本大学）
団体1位 明治大学

R3 × 20

- 個人1位 田邊 伶奈（立命館大学）
団体1位 立命館大学

FR&R60PR

- 個人1位 平野 真歩（同志社大学）



総評

今大会では日本記録2件、ジュニア日本記録4件、大会記録4件、大会タイ記録1件と多くの新記録が生まれました。選手みなさんが日頃の成果を存分に発揮できたことを嬉しく思います。

関西支部では運営の効率化を図るため新しい試みを2つ行いました。一つ目はSlackの導入です。全支部の役員がオンライン上でつながり、スムーズかつ正確に作業を進めることができました。

2つ目は用具検査の予約制度の導入です。例年の競技大会では用具検査室の混雑が課題となっていたため、時間予約制を導入することにより、待ち時間の短縮や作業の効率化を図ることができました。

今年度の連盟試合時は終了しましたが、来年以降も選手ファーストの円滑な運営を目指しますのでご協力のほどお願いいたします。（田中咲良／2024年関西支部幹事長）

講評

今大会では、全国の大学生シューターのべ539名が大阪府能勢町に集まり、学生の日本一をかけた射撃が繰り広げられました。全日本学生選手権の名に相応しく、日本記録を含む11件の記録更新があり、非常にハイレベルな大会であったといえます。主管である学生連盟関西支部のみなさまには、大会前の段階から綿密な計画・準備をしていただき、大会をスムーズに運営していただきました。4年次生の選手・学連委員のみなさま、4年間たいへんお疲れ様でした。今後もぜひ選手やコーチ、審判員として、射撃競技に関わっていただけると嬉しく思います。（田上 諒／TD、2016年関西支部副幹事長）

12月強化指定選手選考記録会(10m50m)兼 2024日本トルコ親善射撃競技大会(10mエアピストル)

開催地：栃木県ライフル射撃場（栃木県）
開催日：12月5日（木）～8日（日）

会場が開く2時間近く前からファンが集まり始め、「国体でもこれほど観客は入りませんでした」（谷津義男・栃木県ライフルスポーツ射撃協会会長）が驚いたほど、観客で埋まった大会。「オリンピック終了後、多忙で練習する時間がとれない」（ディケチ選手）というなかで、若い選手たちのためにと大会に出場。いつもと異なる会場の雰囲気は選手たちにとって、次につながる大きな刺激になったに違いない。



RESULTS

APM

- 1位 中山惇之丞（岡山商科大） 583-22x
 - 2位 ユスフ・ディケチ（トルコ） 578-20x
 - 3位 岩佐 正貴（自衛隊体育学校） 578-20x
- ※同点の順位決定ルールによる

APW

- 1位 陸 未来（新潟県警） 573-16x
- 2位 相澤ひかる（警視庁） 572-14x
- 3位 阿部 花論（高知県） 571-18x

ARM

- 1位 島田 敦（自衛隊体育学校） 626.2
- 2位 岡田 直也（ALSOK） 625.6
- 3位 関口 慈英（明治大学） 624.4

ARW

- 1位 野畑 美咲（明治大学） 629.8
- 2位 清水 綾乃（自衛隊体育学校） 627.1
- 3位 泰地 陽詩（明治大学） 624.4

R3PM

- 1位 岡田 直也（ALSOK） 589-32x
- 2位 花川 直樹（自衛隊体育学校） 580-20x
- 3位 島田 敦（自衛隊体育学校） 578-20x

R3PW

- 1位 平田しおり（ALSOK） 582-26x
- 2位 清水 綾乃（自衛隊体育学校） 581-27x
- 3位 川原 楓（自衛隊） 580-27x

Athlete Voice

なかやまじゅんのすけ
中山惇之丞 選手

この点数に自分でも驚いています。試合中は（射座が端だったこともあり）ときどきドアが開くと冷たい風が入ってきて体が震えましたが、なんとか撃つことができました。ディケチ選手と試合ができたことはとても光栄です。

■ Meyton(マイトン)電子標的システム



測定精度**1/10mm**を実現した

世界最高精度のシステム

192本の赤外線レーザーが交差することで全ての測定範囲において

1/10 mmの測定精度と

1/100mmの分解能を実現

し比類なき精度を実現。



Meyton(マイトン)電子標的 導入射撃場（順不同）：

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m,50m)、福井県立ライフル射撃場(10m,50m)、宮城県ライフル射撃場(10m, 50m)、神奈川県立伊勢原射撃場(10m,50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、茨城県宮ライフル射撃場(10m,50m)、長野県中尾山射撃場(10m,50m)、沖縄県ライフル射撃場(10m,50m)、荒川区総合スポーツセンター(10m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(10m,50m)、日本大学(10m,50m)、明治大学(10m)、その他高校・大学多数導入

※メンテナンス（導入：國友銃砲火薬店様）：大阪府能勢町ライフル射撃場(10m,50m)、同志社大学(10m,50m)

國友銃砲火薬店様設置他射場につきましてもメンテナンスを行いますのでお気軽にお問い合わせください。

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1326 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745

Meyton社 / Noptel社 / Mantis社 / HoRa社 輸入代理店



第37回全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会

開催地：栃木県ライフル射撃場／栃木県
 開催日：2024年11月15日（金）～11月17日（日）
 報告者：田中 辰美／ハイパフォーマンスディレクター

RESULTS

AR60 SH1/ISSF (共生)

- 1位 生駒 早織(東京都) 245.8
- 2位 藤平 卓也(栃木県) 244.9
- 3位 ギャンビルウィリアム海音(神奈川県) 220.8

AR60 SH1 (パラ)

- 1位 望月 貴裕(パラ射連) 608.0
- 2位 辻尾 玲奈(パラ射連) 606.4

AR60PR SH1 (パラ)

- 1位 辻尾 玲奈(パラ射連) 630.5
- 2位 岡田 和也(パラ射連) 628.8
- 3位 片山 友子(パラ射連) 628.6

AR60 SH2 (パラ)

- 1位 金尾 克(パラ射連) 249.6
- 2位 木下 裕季子(パラ射連) 246.0
- 3位 浅野 友希(パラ射連) 199.2

AR60PR SH2 (パラ)

- 1位 水田 光夏(パラ射連) 256.5
- 2位 金尾 克(パラ射連) 253.3
- 3位 坂本 優二(パラ射連) 229.0

RPR SH1/ISSF (共生)

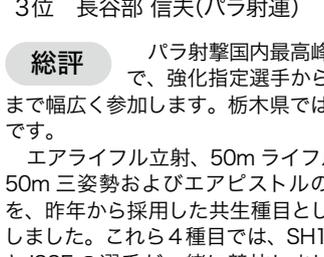
- 1位 岡田 和也(パラ射連) 619.0
- 2位 上竹 強仁(栃木県) 618.8
- 3位 中村 優汰(株式会社新進) 618.0

RPR SH1 (パラ)

- 1位 岡田 和也(パラ射連) 619.0
- 2位 片山 友子(パラ射連) 611.4
- 3位 渡邊 裕介(パラ射連) 611.2

R3P SH1/ISSF (共生)

- 1位 望月 貴裕(パラ射連) 1124



総評

パラ射撃国内最高峰の大会で、強化指定選手から初心者まで幅広く参加します。栃木県では初開催です。

エアライフル立射、50mライフル伏射、50m三姿勢およびエアピストルの4種目を、昨年から採用した共生種目として実施しました。これら4種目では、SH1クラスとISSFの選手と一緒に競技しました（三姿勢はISSFの参加なし）。ここでは一部のみの紹介ですが、50mライフル伏射はパリ大会代表の岡田和也選手（SH1クラス）が優勝。エアライフル伏射SH2クラスは、同大会銅メダリストの水田光夏選手が優勝しました。ファイナルを実施した共生種目



は、エアライフル立射は生駒早織選手（ISSF）、エアピストルは関川颯太選手（ISSF）が優勝しました。

本大会では、初めてクラシファイアによる国内クラス判定が実施されるなどのパラスポーツとしての体制構築に取り組んでいます。

Athlete Voice

水田 光夏 選手

パラリンピック後、練習時間が取れないなかで臨んだ大会でしたが、ファイナルを日本記録更新というよい形で終わることができました。今後も目の前の大会に向けて目標を立てながら練習に励んでいきます。

生駒 早織 選手

射撃競技を楽しむ者同士、お互いを尊重し、高め合えた素晴らしい大会でした。パラ選手の方々の強さ、そして心の強さに本当に感動し、共に戦えたことを誇りに思います。今後の大会の発展に期待したいです。

鈴木 努 選手

昨年の自分の記録や、それ以前にあったアウトドア記録を上回ることができ、率直に嬉しいです。R9の競技者はまだ少ないため、魅力を伝えていけたらと思います。



第1回全日本パラビームライフル射撃競技選手権大会



RESULTS

BR60T SH1

- 1位 東 宏(稲スポーツセンター) 616.3
- 3位 黒田 恭亮(稲スポーツセンター) 602.6
- 4位 佐伯 龍之介(布引アココーポレーション) 574.7

BR60T SH2

- 1位 田島 政貴(埼障ラ) 634.8
- 3位 奥山 奈々(三菱電機ビルソリューションズ) 611.6
- 4位 増田 眞美子(埼障ラ) 604.5

BR60 SH1

- 1位 清水 颯基(神戸市) 393.0

BR40F

- 1位 東 宏(稲スポーツセンター) 425.6
- 3位 宮城 柚那(稲スポーツセンター) 425.4
- 4位 黒田 恭亮(稲スポーツセンター) 422.0

BR40F 団体戦

- 1位 大阪府立稲スポーツセンター さくら 1273.0
- 3位 埼玉県身体障害者ライフル射撃連盟 1234.0
- 4位 大阪府稲スポーツセンター もみじ 1201.8

BP60 SH1

- 1位 齋藤 康弘(神奈川県庁) 534
- 2位 森脇 敏夫(埼障ラ) 523
- 3位 桑田 泰寛(厚木清南高校) 336

BR40F VI (エキシビジョン)

- 1位 手賀由美子(埼障ラ) 324.0

総評

今年度から、ビームライフル種目は第1回全日本パラビーム選手権として同時開催。ライフル種目4種目ならびにピストル種目1種目を実施。自由姿勢団体戦には4チームがエントリーし、4年ぶりに種目が成立しました。大阪府稲スポーツセンター さくらが優勝。自由姿勢個人戦では、ディフェンディングチャンピオンの宮城柚那選手の4年連続の優勝をほばみ、東宏選手が優勝しました。全日本パラ射撃選手権（旧全日本障害者射撃選手権）では永らく途絶えていた視覚障がい種目の自由姿勢に手賀由美子選手がエントリー、エキシビジョンで実施されました。

2024(第21回) ノーマライゼーションビームライフル大会

開催地：埼玉県障害者交流センター
開催日：2024年11月10日(日)
報告者：西野 均／埼玉県身体障害者ライフル射撃連盟



RESULTS

自由姿勢 20 発の部

1位	田島 政貴(埼障ラ)	212.2
2位	田邊 昊(埼障ラ)	207.8
3位	増田 眞美子(埼障ラ)	203.5

立射 20 発 一般、SH1 の部

1位	杉山 怜(国際学院高)	208.9
2位	山岸 直人(国際学院高)	208.7
3位	高岡 柚子(国際学院高)	208.0

肘射 20 発 一般、SH1 の部

1位	杉山 怜(国際学院高)	207.3
2位	大野 望叶(国際学院高)	206.7
3位	野島 結羅(国際学院高)	206.3

肘射 20 発 一般、SH2 の部

1位	田島 政貴(埼障ラ)	211.1
2位	田邊 昊(埼障ラ)	206.1
3位	増田 眞美子(埼障ラ)	205.4

自由 20 発 音式の部

1位	平田 正路(埼障ラ)	209.7
2位	黒澤 美花	185.5
3位	手賀 由美子(埼障ラ)	174.1

肘射 20 発 音式の部

1位	平田 正路(埼障ラ)	172.3
----	------------	-------

総評

埼玉県身体障害者ライフル射撃連盟(以下、埼障ラ)は1997年1月に設立。同年11月から2000年まで6回ビームライフル体験セミナーを開催しましたが、試合形式の方が参加者のモチベーションが上がると2001年から試合形式に変えました。1998年2月に私がカナダで開催されたクロスマンエアガンチャンピオンシップ射撃大会にエアライフルで参加したとき、障害者も健常者と一緒にエントリーしているのを見て感激し、名称をノーマライゼーションビームライフル射撃大会と決めました。2007年の第7回大会から国際学院高校のビー

ムライフル機材と射撃部生徒の協力を毎年もらっています。

初めてビームライフルを触る方からベテランまで、障害の有無に関係なく一緒に楽しめる大会として今後も継続していきたいと思います。選手のモチベーションを上げる手段としての段級申請資格が現在、装薬ライフルではパラ種目の選手には認められていません。今年度中には実施したいと日本パラ射撃連盟選手強化・普及委員会田中辰美委員長から全日本パラ選手権大会場において言質をいただきました。長年の悲願です。ぜひ実現をお願いいたします。

今回のテーマ
照準

今回は照準について眼科の側面からお話ししていきます。
まずは照準について、大切な視力と、その能力を引き出すサイトシステムに関する説明から始めましょう。

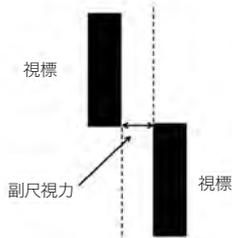
視力について

照準に必要な視機能についてはこれまでお話ししてきました。今回は照準で特に重要である「副尺視力」と「コントラスト感度」について説明します。これらの能力は通常の視力が矯正されていないと、きちんと発揮させることはできません。

A、副尺視力

射手は照準をするとき、副尺視力という通常の視力よりも約10倍精度の高い鋭敏な視力を使っています。この視力は二つの線のズレを見分けることができる視力です（図1）。したがって、私たちが照準のときに副尺視力を使用しようとするならば、二つの線のズレを見分けられる基準となる装置が必要です。銃ではその装置がフロントサイトとリ

図1 副尺視力



2本の直線の位置ズレがわかる閾値で、入りの差が「視野角2°」程度でも検知される

B、コントラスト感度

コントラストとは、見ている対象

アサイトになります。これらの装置がないと私たちは銃が標的に正確に向いているかわからないだけでなく、副尺視力を使うことができないため、標的のズレを敏感に感じることができません。フロントサイトとリアサイトという装置は、照準ではとても重要です。副尺視力は、オープンサイトを使用时に大切な能力です。

C、サイトシステムについて

照準は銃口の近くにあるフロントサイトと、目に近い部分にあるリアサイトの二つのサイトを使って行います。サイトの形は図2のようなオープンサイト（ポストサイト）と図3のようなリングサイト（ピープサイト）があり、主にオープンサイトはピストル射撃、リングサイトはライフル射撃で使われています。

1、オープンサイト

オープンサイトは図2のように、ポスト型の照星と切り込みのある照

図2 オープンサイト（ポストサイト）

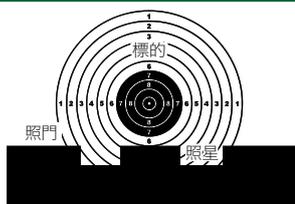


図3 リングサイト（ピープサイト）



Profile

枝川 宏

えだがわ・ひろし

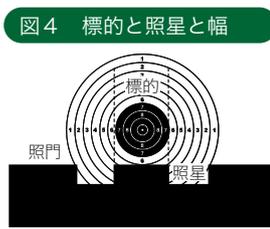
北里大学大学院卒。医学博士。日本眼科学会専門医。日本スポーツ協会公認スポーツドクター。医療法人社団えだがわ眼科クリニック理事長。順天堂大。国立スポーツ科学センター客員研究員。日本スポーツ振興センター スポーツ事故防止対策協議会委員。日本眼科医会 スポーツ眼外傷対策委員。日本ライフル射撃協会 医科学委員長。



門で構成されています。オープンサイトでは、照準は照門とポスト照星の上端を手がかりとします。

(1) 照星

正確な照準を目指すには、照星の幅は重要です。照星の幅を図4のように標的の幅と同じか少し大きめにする、照星と標的のズレがわかりやすくなります。



(2) 照星と照門の幅

照星と照門の幅も照準にとって重要です。照星と照門の幅が適切であれば、照星と照門のズレがよくわかります。しかし、図5のように照門に対して照星の幅が細くて照星と照門の間のすき間が大きい場合、照星の幅が太くて照星と照門の間のすき間が小さい場合は、標的のズレは判別しにくくなります。

適切な照星と照門の幅の比率は、ライフルでは図6のように1対2または1対3、ピストルでは図7のように1対1.5か1対2と、ライフルとピストルで異なります。

図5 照星と照門の幅



図6 ライフル用サイト



図7 ピストル用サイト



② 照門と照星を正しい位置にする

まず、照星と照門の高さを同じにして、照星の位置を照門の真ん中に置きます。これらの手順で標的のズレがわかりやすくなります。もし、照星の位置が図10のように照門より低い位置にあると着弾位置は標的の下方にズレ、図11のように高い位置にあると着弾位置は標的の上方にズレます。また、照星の位置が図12のように照門の中心よりも右にあると着弾位置は標的の右にズレ、照星の位置が図13のように照門の中心よりも

図10

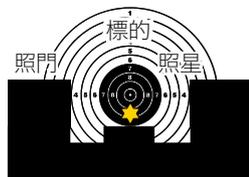


図11



図12

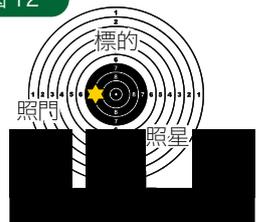
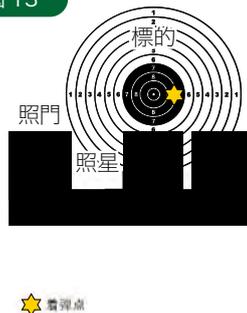


図13



左にあると着弾位置は標的の左の方にズレます。このように、照門と照星の位置がしっかり合っていないと、着弾位置はズレてしまいます。

③ 照星上端と標的間に細いすき間をつくる

照門と照星の位置が決まると、照星を標的の下方から上方(時計の6時から12時)に向かってゆっくりと動かして、照星上端と照門を同じ高さに合わせます。そのとき、図14のように標的の一部が照星に重なる、標的と照星の間にすき間のない

状態になるために副尺視力が使えず、正確な照準はできません。しかし、図15のように標的の下縁と照星上縁の間に細いすき間があると副尺視力が使えるので、標的と照星のズレがよくわかります。すき間はできるだけ細かいほうが、標的と照星のズレをよく感じることができます。



2、リングサイト

リングサイトはサイトがリング状になっている形で、ピープサイトとも呼ばれています。

リングサイトのリアサイト(照門)はリング状ですが、フロントサイト(照星)は図3のように、リング形があります。リングサイトはオープンサイトののようなポスト形の照星と切り込みの照門の構成ではなく、照星と照門ともにリング形で構成されています。したがって、リングサイ

トによる照準はリング全周(360度)のすき間の幅の違いとコントラストで行うことから、ズレの手がかりはリングサイトの方がオープンサイトよりも多くなります。そのため、リングサイトのほうが照準の合わせ方が難しくなります。とくに、身体の動揺の影響を受けやすいので、立射のような安定度の低い射撃姿勢で活用するには慣れが必要です。

(1) リング照星

リング照星は標的とリング内縁でできるすき間の幅を整えると、正確な照準が得られます。標的とリング内縁のすき間が狭い「きついリング照星」では、標的とのズレがよくわかり、照準の精度を高めることができるので、体の動きが固定しやすい射撃姿勢(伏射、膝射)で使用するのに適しています。また、標的とリング内縁のすき間が広い「ゆるやかなリング照星」では、標的とのわずかなズレが発見しにくく照準の精度は低くなりますが、体の動きが固定しにくい射撃姿勢(立射)で使用するのに適しています(図16)。

また、天候や環境の状態に応じて変化する標的の鮮明度も、リングの内縁の大きさを変えることで整える

ことができます。曇天時や明るい射撃場のような可視条件がよいときは、図17のように標的とリング内縁のすき間のコントラスト差がはっきりしているの、「きついリング照星」の使用が適しています。しかし、晴天時や早朝時・薄暮時・霧の出ているとき、暗い射撃場のような可視条件が悪いときは、図18のように標的とリング内縁のすき間のコントラスト差がはっきりしていないので、「ゆるやかなリング照星」も使用に適しています。また、標的が太陽に直射するような晴天時はリング照星の効果は大きく低下しますので、緩やかなリング照星を使用します。

図16 標的とリング照星の内径の関係



図18 可視条件が悪い状態



図17 可視条件がよい状態



(2) 照準の手順

フロントサイトとリアサイトがリング状のサイトでは、着弾点を中央にするための照準は、図19のように標的とリング状の照星と照門でできるすき間の幅を全周で等しくする必要がありま

す。リングサイトの照星はリング内周の長さが長いことから、多くのズレの手がかりが得られる利点がありますが、身体の影響を感じやすくなる欠点があります。

① 銃の方向を正しい位置にする

標的とリング照星とリング照門のすき間の幅を全周で等しくします。銃の移動による照準の位置ズレと着

図 20 リング照星と標的の位置

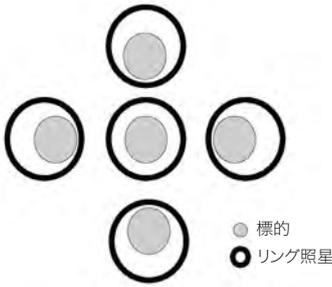
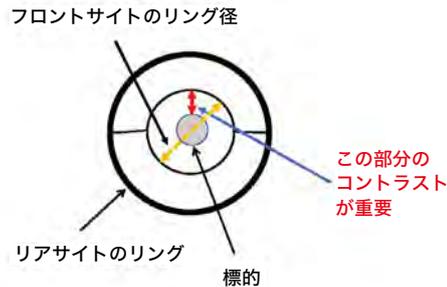


図 19 コントラストと照準



弾点のズレはオーブンスイトと同じ。

②照星と標的を正しい位置にする

標的がリング照星の真ん中にするようにします。図20のように標的が正しい位置にあれば、リングの中央に標的が見えますが、銃の方向が上にズレていれば標的は下方に、下にズレていれば標的は上方に、右にズレていれば標的は左に、左にズレていれば標的は右にズレて見えます。

③標的と照星のすき間のコントラストに気をつける

標的やサイトリングの内径のすき間のコントラスト差が小さいと、標的と照星のすき間を判断しにくくなります。そのとき、(i) (ii) (iii) のような方法でコントラストの調節を行って、標的と照星のすき間のコントラストがよく見えることが大切です。

(i) ピープ（人工瞳孔）直径の大きさを考える

ピープを使うと人工的に瞳孔径の大きさを変えることができます。ピープを使用するのは、眼の「ピンホール効果」を利用したものです。眼の「ピンホール効果」とは、ピンホールの穴から覗くと瞳孔径が変わって眼に入る光量が変わり、被写界深度（注1）が変化して視力がよくなる現象のことです。

ピープ径を大きくすると眼に入る光量が多くなって被写界深度が浅くなり、ピントの合う範囲が狭くなつて見にくくなります。ピープ径を小さくすると眼に入る光量が少なくなつて被写界深度が深くなり、ピントが合う範囲が広がります。しかし、ピープ径が小さすぎるとコントラスト

が悪くなり、見にくくなります。光学的には人の瞳孔径は2.4mmが理想的とされています。

近視の人はピンホールの穴から覗くと視力がよくなったと感じますが、視力矯正を正しくしている人では視力やコントラスト感が低下します。ピンホールのついた視力回復用メガネが売られていますが、「ピンホール効果」でよく見える人は近視の人だけ。しかも視力がよくなるのは穴から覗いたときだけで、使い続けていても視力が回復する効果はありません。

(ii) フロントサイトのリング直径を変える

リング径を小さくすると、標的とフロントサイト内縁のすき間は細くなって眼に入る光量が減るので、コントラストを弱めることができます。また、リング径を大きくすると、

標的とフロントサイト内縁のすき間は広くなって眼に入る光量が増えるので、コントラストを強めることができます。

(iii) フィルターを使用する

フィルターの取り付けについては、照準線に対して直角に配置して、視線がフィルター中心部を通して、視線がフィルター中心部を通して、

ようになっていて、眼とフィルターの距離が一定で、射撃中にフィルターが移動しないように気をつけます。

フィルターの濃度は、曇っている日・薄曇りの日は低い濃度のものを、晴天のように太陽が強く標的を照らしているときは、高い濃度のものを使用します。

色は、経験的に黄色、橙色、淡い黄色、緑色かかった灰色、褐色味をおびた灰色、黄緑色、橙色（黄褐色）、中間色、（青緑かかった灰色）、暗色（褐色味をおびたもの）などが使用されています。フィルターの選択色は射撃をしているときの環境や人による色覚・彩度の感じ方が異なることから、どのフィルターの色がベストなのかについては、はっきりとした科学的根拠はありません。色は本人の選択に任せるのがよいでしょう。

（注1）被写界深度とは、あるところにピントを合わせたときにその前後でピントが合っているように見える範囲のことです。「被写界深度が深い」と、広い範囲でピントを合わせることができますが、「被写界深度が浅い」と、ピントを合わせた範囲は狭くなります。

New Model !!



上段：Model 900 Alu MESHPRO
下段：Model 900 Alu

Feinwerkbau GmbH Model 900 Alu

商品に関するお問い合わせは、お電話・メール、または公式LINEまで！！

株式会社 銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目
13番7号(新保ビル2階)
TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444

公式SNSで

お得な情報発信中!!

右記QRコードよりチェック!!



facebook



Instagram



TWITTER



友達追加はこちら!!



ホームページより
カタログをダウンロード
できます。



*顔写真つきの選手は2024年10月1日付で新たに指定された選手。
4月から引き続き指定を受けている選手は名簿のみとする。

強化指定選手の紹介

略語について

AR……10M エアライフル R3P……50M ライフル 3 姿勢

ライフル

AR



村田 薫美
ムラタ・クルミ

生年月日 2004/11/20
出身地 滋賀県大津
所属 同志社大学

AR



泰地 陽詩
タイチ・ヒナタ

生年月日 2005/7/13
出身地 徳島県徳島市
所属 明治大学

R3P



鈴木 志佳
スズキ・ユキカ

生年月日 1999/11/29
出身地 東京都目黒区
所属 自衛隊体育学校

AR60



篠原 章宏
シノハラ・アキヒロ

生年月日 1985/3/22
出身地 徳島県徳島市
所属 マス・サンファーム

R3P



大塩 勇斗
オオシオ・ハヤト

生年月日 2001/9/4
出身地 福井県福井市
所属 福井村田製作所

AR 野畑 美咲/ノハタ・ミサキ/2003/8/25/大分県大分市/明治大学

R3P 千葉 朔海/チバ・サクミ/1997/1/30/千葉県柏市/日立ビルシステム
堀之内 愛/ホリノウチ・アイ/2000/6/19/徳島県小松島市/自衛隊体育学校

AR R3P 岡田 直也/オカダ・ナオヤ/1990/10/10/岡山県津山市/ALSOK

遠藤 雅也/エンドウ・マサヤ/1998/2/16/岐阜県美濃市/名阪急配
島田 敦/シマダ・アツシ/1998/7/20/埼玉県上尾市/自衛隊体育学校
清水 綾乃/シミズ・アヤノ/1990/11/18/岐阜県岐阜市/自衛隊体育学校
花川 直樹/ハナオカ・ナオキ/1998/7/8/兵庫県伊丹市/自衛隊体育学校
平田 しおり/ヒラタ・シオリ/1999/11/6/石川県能美市/ALSOK

パラ射撃

AP SH2



金尾 克
カナノ・マサル

生年月日 1976/3/12
出身地 富山県
所属 YKK ライフル射撃部

FR60PR SH1 AR60 SH1
岡田 和也/オカダ・カズヤ/1969/10/30/
三重県津市/ウッドストック

渡邊 裕介/ワタナベ・ユウスケ/1975/8/14/
広島県府中市/渡辺石灰

AR60PR SH2
瀬賀亜希子/セガ・アキコ/1965/10/12/
東京都三鷹市

水田 光夏/ミズタ・ミカ/1997/8/27/
東京都町田市/白寿生化学研究所

略語について

R3……エアライフル伏射混合 SH1
R5……エアライフル伏射混合 SH2
R6……ライフル伏射混合 SH1
SH1……自分の腕でライフル銃を保持する選手
のクラス
SH2……上肢に障がいがあり、規定の支持ス
タンドを用いる選手のクラス

略語について

AP……10M エアピストル
SP……25M ピストル (女子)
RFP……25M ラピッドファイアピストル (男子)

ピストル

AP



森田 馨介
モリタ・ケイスケ

生年月日 2005/7/14
出身地 茨城県つくば市
所属 関西学院大学

AP



蟹江 良平
カニエ・リョウヘイ

生年月日 1987/8/12
出身地 愛知県名古屋市長
所属 警視庁

RFP



岩田 泰輝
イワタ・ヒロキ

生年月日 1997/11/5
出身地 兵庫県神戸市
所属 兵庫県警察

AP SP 佐々木 千鶴/ササキ・チヅル/1985/12/2/岩手県盛岡市/岩手県警察
財津 美加/サイツ・ミカ/1992/5/24/大分県日田市/大分県警察
山田 聡子/ヤマダ・サトコ/1995/2/26/滋賀県甲賀市/自衛隊体育学校

AP 相澤 ひかる/アイザワ・ヒカル/1990/6/11/北海道勇払郡/警視庁
岩佐 正貴/イワサ・マサキ/2002/2/8/徳島県阿南市/自衛隊体育学校
金坂 春杜/カネサカ・ハルト/1994/1/28/千葉県茂原市/陸上自衛隊
陸 未来/クガ・ミキ/1994/1/12/新潟県南魚沼市/新潟県警察
森川 清司/モリカワ・セイジ/1984/4/20/広島県東広島市/広島県警察

RFP 飯村 嘉一/イムラ・ヨシカズ/1983/8/30/千葉県船橋市/警視庁
市川 広義/イチカワ・ヒロヨシ/1982/11/4/静岡県三島市/警視庁
武内 響/タケウチ・ヒビキ/1997/4/11/北海道札幌市/自衛隊体育学校
吉岡 大/ヨシオカ・ダイ/1985/12/14/京都府長岡京市/京都府警察

SP 小西 ゆかり/コニシ・ユカリ/1979/1/11/北海道二海郡/飛鳥交通
星野 優奈/ホシノ・ユウナ/1995/6/22/千葉県習志野市/警視庁



ナショナルチームを支える オリ・パラ 6人のコーチ

ナショナルチームには6人のコーチがいる。パリ大会から引き続き務める4人と、パリ大会で任期を終え、帰国されたエミール・ドシャノフコーチ、ゴラン・マキシモビッチコーチの後任となる松田知幸コーチ、キム・ヨンゴンコーチである。

今回、6人のコーチにこれまでの振り返り（もしくはご自身の経歴）と今後に向けた抱負や課題などについて、コメントを寄せていただいた。日本代表を世界のトップに押し上げたいと指導の現場に立つ、コーチたちの熱い想いを紹介する。

パリ以上の成果を目指して取り組む

猪坂 桂

(イサカ・カツラ/ライフル)



これまでの強化における指導をふり返りますと、強化指定期間を1年から長期に延長したことで、選手個々の状況や課題を深く理解し、良好な関係を築くことができたと感じています。

一方で、これまではファイナル進出を一つの目標としていましたが、さらなる高みを目指すべく全体の意識改革が課題かと感じました。私自身も情報収集と分析に注力し、選手への的確なアドバイスを強化していきたいと思っています。

ロスに向けてはトップ選手の育成はもちろん、スタッフの育成、国内ローダー制度の整備など、多くの課題があります。これらの課題克服のため、明確な目標設定とそれらを実現するためのロードマップ作成、そして必要なリソースの確保が重要となってきます。

パリ大会以上の成果を目指し、世界レベルで戦えるチームづくりに取り組んでいきたいです。

メンタルと装具の両面から全力でサポート

野口 優太

(フグチ・ユウタ/ライフル)



本格的にパラ射撃の強化活動に関わり始めてからまだ日が浅いですが、パリ大会、さらにはその先のロス大会を見据え、銃器の調整や選手とのセッティングづくりに取り組んできました。トップ選手の装具は常に完璧な状態であることが求められるため、これまでの私自身の選手経験も活かしながら、今後も装具の研究とサポートを継続していきます。

今後の課題は主にメンタル面の強化だと考えています。パラ種目でファイナルに進出するためには（種目にもよりますが）106〜107点を安定して出す必要があり、オリ種目以上に強靭なメンタルが求められます。ロス大会に向けて選手が最高のコンディションで臨めるよう、メンタル面と装具面の両方から全力でサポートしていきます。

パラ射撃のサポーターとして恩返しを

中重 勝

(ナカシゲ・マサル/ピストル)



平成2年からナショナルチームの一員として約20年間、選手として活動させていただきました。令和6年4月に羽田順一前コーチからパラ射撃ピストルコーチを引き継ぎました。

選手時代は多くの方々のご指導、ご高配を頂戴し、オリンピック出場3回（アトランタ・シドニー・アテネ）、地元広島市で開催された1994年アジア大会での優勝など、貴重な経験をさせていただきました。

これまでの経験を糧に、微力ながら、パラ射撃選手のサポーターとして恩返しできればと思っています。

パラ射撃

ロスに向けて

松田知幸

(マッダ・トモユキ/ピストル)



この度、長期に渡り日本のピストル界を支えてくれたエミール・ドシャノフ氏の後任として、ナショナルチームピストルコーチに就任しました。私はエミール氏の指導のもと、オリンピックでのメダルには届きませんでした。世界選手権やW杯などで優勝を経験し、日本人でも世界と対等に渡りあえると確信しております。また、射撃に出会い、自分の存在価値が見出せたと思っています。

ロスに向けてはまず、根本的な技術強化は当たり前で、その上での明確な目標設定をします。明確な目標があればあとは努力するだけです。

選手に伝えたいのは「まずは練習すること。結果を出すには、まずは練習」です！ 加えて「練習以外で、誰にも真似できない領域の努力」をしてほしいと思います。

練習以外での努力は自信に変わり、強さになります。強さを手に入れ、ロスで自分の存在価値を示すことのサポートができればと思っています。必ず世界で勝てる強い選手を育て、一緒に戦いたいと思います。

目標は、オリンピックでのメダル獲得！

日本での抱負

キム・ヨングン

(韓国/50mライフル)



こんにちは。私は射撃コーチの金永根です。パリオリンピックで大韓民国射撃代表チームを率いて銀メダルを獲得しました。過去14年間コーチとして活動し、さまざまな国際大会で指導経験を積み、これからは日本代表チームのコーチとして日本射撃の発展に貢献したいと思っています。よろしくお願います。

日本のライフル射撃選手の総合的な記録向上を目指し、若い選手を体系的に育成し、さまざまな年齢層から優秀な選手を輩出したいと考えています。これにより、厚い選手層を形成し、国際大会で着実に競争力を身につけられるようになります。また、選手一人ひとりの潜在能力を最大限に引き出せるオーガナイゼーションシステムを導入し、日本射撃の新たな飛躍を目指します。最終的には、ロサンゼルスオリンピックでメダルを獲得し、日本射撃の地位を世界に知らしめることが目標です。

日本射撃の発展のために情熱と努力を惜しみません。

3年間の旅、そして果てしない挑戦

キム・ウーヨン

(韓国/10mライフル)

この3年間、日本チームのコーチとして生きてきた時間は短くも長く感じます。短いといえは短いこの期間、数多くの試合に参加し、学び、反省し、成長しました。ときどき思うような結果が得られず、悔しいこともありましたが、その過程のなかでチームの発展を目で、心で感じました。なによりも大きな変化は、選手たちが自信を持ち、自分のプレーを深く理解し始めたことです。国際大会でスコアで証明される成果だけでなく、選手たちが試合に臨み、何を準備し、何をすべきかを正確に知っていることは、私たちのチームの最大の成長です。まだ足りない部分があります。私たちは間違いなくもっと高いところへ向かっていける可能性を秘めています。

ただ多くのことを試してみたかったのですが、現実的な限界にぶつかるとも多々ありました。それでもいまはチームへの理解と適応が深まり、選手たちと一緒によりよい環境をつくるために絶えず悩んでいます。特に、来る2025年は新たな飛躍の年になると思います。協会のサポートとチームの努力に心から感謝し、より集中できる環境を作るために最善を尽くします。

私は毎日自分自身に問いかけます。

「どうすればチームがよりよい環境のなかで、よりよいプロセスで、よりよい結果を生み出すことができるか？」

この質問は私の指導哲学の中心です。過程は決して簡単ではありませんが、地道な努力と信念を積み重ねていけば、必ずその目的を達成できると信じています。果てしない悩みと粘り強さ、そして情熱。それがチームの成長を導く原動力です。これからも私は休むことなく努力し、選手たちと一緒に高い目標に向かって果てしなく挑戦していきます。弛まぬ努力は常によりよい未来をつくり出すと信じています。

一緒に歩んできた3年、そしてこれから始まるより大きな旅を楽しみにしています。

2025年、そして来るべきオリンピックに向けて、ARで男子2枚、女子2枚、計4枚のオリンピックチケットを獲得することを目指します。決して簡単なことではないからこそ、より意味があり、私たちが達成すべき価値のある目標です。可能性のある選手に対し、集中的なトレーニングと投資を惜しみません。

私は毎日自分自身に問いかけます。

私たちの目標は単に「日本」を超えることではありません。選手を目線をさらに高め、国際大会で通用する世界的な選手をつくること。そのために、私たちは常に国際大会に参加し、実戦感覚を養うことができる競争力のあるトレーニングを計画しています。周辺国の強い選手と交流し、練習試合を増やし、大きな試合でも揺るぎない強い選手に育てていきます。私たちは信じています。目標が明確であれば、道は必ず見えてきます。その道の先に私たちが迎えるのは、ロサンゼルス金メダルです。

明確な目標、徹底した準備、そして揺るぎない挑戦。私たちは最後まで進み、その結果、誰もが夢見ていた勝利を成し遂げます。

ロスで金メダルを手に、新たな歴史を描きます。

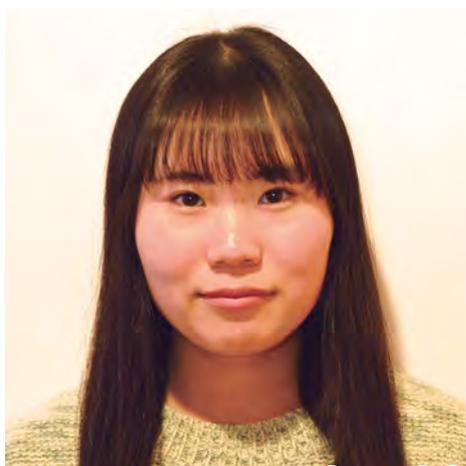
ロスで金メダルを手に、新たな歴史を描きます。



未来の Olympian たち

連載 第7回

今回の未来人は、インカレこと全日本学生スポーツ射撃選手権大会個人3姿勢で優勝した田邊伶奈選手(立命館大学)です。大学卒業を控えた田邊選手のこれまでとこれからを伺ってみました。



春からは4年後のロスに向けた土台づくりを始めます

たなべ れな
田邊 伶奈

(ライフル/立命館大学4年/岐阜県出身)

私が射撃と出会ったのは中学1年生のとき。岐阜メモリアルセンターで開かれていた体験会に参加してみてもうかと両親に勧められ、気がついたら始めていました。本格的に射撃をやったいこうと思うようになったのは、県内の強豪校・済美高校への進学を決めた中学3年生になってからでした。

高校生活はまさに射撃と共にありました。それまでは自宅から遠いこともあって、練習に行けるのは週に1回程度だったんですが、済美に入ってからには修学旅行と元旦以外は毎日朝1時間、放課後2時間、練習しました。とにかく練習したかったんです。というのも、高校に入ってからすぐの年の全国大会に向けた県予選で、私は思うような結果が出せず、レギュラーにもなれなくて、これではダメだと感じたからです。しかも、その年の全国大会で先輩たちの優勝を目の当たりにして、これまでで一番の感動だったというくらい、感動

しました。以来、「来年は全体レギュラーになって、連覇するんだ」と私のなかで目標が定まり、そこから本気で取り組むようになり、コロナで学校に行くこともできなくなったときは先生にお願いし、ビームライフルの機材を借りて自宅で練習していました。

その後、憧れの先輩を追って立命館大学に進学し、まもなく卒業を迎えます。あつという間の4年間でした。春からは地元に戻り、競技を続けます。これまでは部活の仲間、監督、コーチが支えてくれましたが、ここからは一人でやっていかなければいけない環境になると思います。まずはこの1年、環境に適應させながら、目標とするロサンゼルス2028オリンピックへ向けて土台づくりをしていきたいと思っています。

そんな私にとっての射撃の魅力は、練習した分だけ点数になって返ってくること。努力が点数で見える競技ってなかなかないですよ。

才能ある人材を見出し、育成強化につなげていく

タレント発掘事業とは

未来のオリンピックのページでしばしば登場する「タレント発掘事業」。2004年福岡県が全国に先駆けて、子どもの能力を見出し、活かすことを目的にタレント発掘事業をスタートしました。現在、自治体が主導するもの、国が主導するもの、さまざまな形でこのタレント発掘が行われています。そもそもこの「タレント発掘」とはどんな事業なのか、射撃競技の場合はどうなっているのか。成山悟史／普及・生涯スポーツ委員会委員長にお話を伺いました。

成山 悟史／普及・生涯スポーツ委員会委員長



国際舞台で活躍する選手を発掘・育成するネットワーク「WPN ワールドクラス・パスウェイ・ネットワーク」という行政が始めた事業があげられます。

スポーツに転向すること。残念ながら、47都道府県に採択されているわけではありません。

「普及」や「発掘」はしばしば一緒に使われますが、二つはまったく異なります。普及とは、射撃という競技を「知ってもらおう」「興味を持ってもらう」「楽しんでもらおう」といった、競技の裾野を広げる活動のことを指しています。一方、発掘は「選手の適性を判断」し、「育成強化につなげていく」ためのものをいいます。目的が大きく異なるのです。つまり、タレント発掘とは普及ではなく、文字どおり才能ある原石を発掘し、育成強化につなげていく活動です。

タレント発掘 3つのタイプ

種目適正型…個人の適正に応じたスポーツを模索すること。身体・知的能力を高めるプログラムの実施

種目選抜型

…特定のスポーツにおいて適正を見出し、選抜すること。例えば、地区代表、日本代表などを選出する際に、すでにそのスポーツを実施している者から選出する

種目最適(転向)型

…あるスポーツのアスリートが、自身の特性を活かすことのできる別の

りました。低年齢のお子さんもいましたが、能力を測るにはまだ難しく、楽しかったという記憶を持って帰っていただくことになりました。ただ、その楽しかった記憶が残っていて、数年後に思い出してやってみたいということになればそれもいいことだと私は考えています。

また、当協会でもFTEM事業として、各ブロックを中心に選手発掘・育成をすすめています。同時に、これまで高校なら高校、大学は大学、など縦割りでわかれていた体制を見直し、アスリート・パスウェイが始まり、一貫した強化育成を図っていく方向になりました。競技人口という裾野を広げ、強化が上がっていく、ピラミッド型を目指していくという体制になり、普及・発掘・育成・強化に力を入れています。

これまで全国各地で会員数を増やすため、普及・広報的な活

動をやってこれられていることだと思います。それでも体験会など一過性の楽しさで終わってしまいい、なかなか会員数に結びついていけないというジレンマを感じてこれられているのではないのでしょうか。ここに発掘という視点を加えて活動することによって、定着率があがってくるのではないかと私は考えています。

とはいえ、よい発掘事業を行うには選手の適性を『判断する目』を養わなければなりません。今後、その基準を決めていく必要もあるかと思いますが、各都道府県で行っている事業のみならずにはその点を意識しながら発掘を行っていただきたいと思



ワルサー新型エアライフルLG500登場！

WALTHER

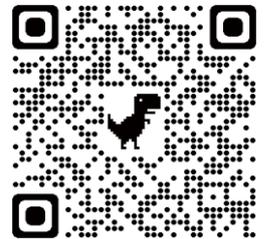
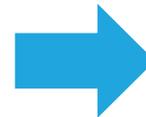
LG500 itec

TARGETED PERFECTION

最新バレルクランプ
により剛性が高まり
ました！

グリップ内臓型の最新
電子トリガー登場！
メカニカルから
ユニットのみの交換も
可能です！

公式X始めました！



Shooting World

MOST TRADITIONAL GUNSMITH IN JAPAN KUNITOMO CO., LTD. Since the 16th C.A.D.

(社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー

ワルサー社日本総代理店

株式会社 **國友銃砲火薬店**

TEL(075)351-3037 FAX(075)351-3041

〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: shooting@zj8.so-net.ne.jp



今月の表紙

昨年12月に来日し、話題を呼んだユスフ・ディケチ選手。6日間という短い滞在でしたが、射撃を愛し、次世代のため、ファンのためと真摯に対応してくれました。ディケチ選手、ありがとうございます。(写真/松島 愛)

CONTENTS

巻頭特集

人生でもっとも大切なものは友情である P4
~2人のオリンピックがつなぐ 日本とトルコ、友好の絆~

Mr. Yusuf Dikec

特集

SAGA2024 P9
大会リザルト P14

新年の挨拶 松丸喜一郎日本ライフル射撃協会会長 P3

共生スポーツ・スポーツ射撃を通じ、被災地と和を結び、障がいの壁を越える
2024年度ビームライフル・ビームピストルスポーツ射撃体験会 ... P18

連載

From Shooting Range File.7
佐賀県ライフル射撃協会 P16
大会レポート P22
射撃学 アスリートのための視覚講座~その5 P28
強化指定選手の紹介 P33
ナショナルチームを支える6人のコーチ P34

射撃競技の明日を担う

未来のOlympian たち 連載7回目 P36
射撃人 平井 宏治 常務理事 P39

ライフルスポーツ 冬 2025 467 JANUARY

発行：公益社団法人日本ライフル射撃協会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
TEL 03-6721-0792 FAX 03-6721-0793

Http://www.riflesports.jp/

Email : rifle@riflesports.jp

発行人：松丸喜一郎

編集：総務委員会広報部会、78works

写真：松島 愛

デザイン・印刷：明宏印刷株式会社

※ 本誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

記載記事、写真などの無断転載はお断りいたします。

次号は2025年4月15日発行予定です。

〈お詫びと訂正〉

ライスポ秋号(no466)におきまして、以下の誤りがありました。下記のとおり訂正させていただきます。

P32 大会新記録(個人) BP40
(誤) 阿部 朱里 232.6点(佐賀学園/佐賀)
(正) 阿部 朱里 232.6点(倉敷翠松/岡山)

関係者ならびに会員のみなさまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

射撃人

~ Shooting for All, All for Shooting ~

国体から国スポへ

平井 宏治 常務理事

本年度の第78回佐賀大会から国体(国民体育大会)が国スポ(国民スポーツ大会)へ名称変更されたことはご存じの方も多...

このJとGは「Japan Games」の頭文字で、今後、日本スポーツ協会では「Japan Games」のブランドでスポーツイベントを開催していく方針です。その一...



とするスポーツイベントのブランド化が推し進められることは間違いのないと思います。競技団体もその流れに遅れることなく...

MIZUNO TRAINING



着るだけで、スイッチが入る。

心に火がついて、

身体を動かさずにはいられなくなる。

走る。飛ぶ。跳ねる。

汗を流すことが、やがて力になっていく。

本気で戦うその日を目指して。

なりたいジブンへ。



REACH BEYOND